

# 改訂の概要

## F. 薬学臨床

- ・日本薬学会 薬学教育モデル・コアカリキュラム及び  
実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂に関する調査研究委員会委員
- ・コアカリ改訂調査研究チーム 7グループ責任者

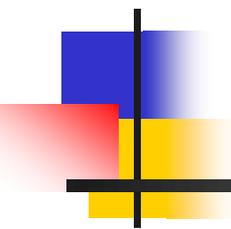
**鈴木 匡**

(名古屋市立大学薬学部)

## 「F 薬学臨床」

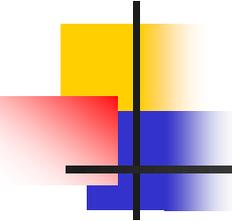
# コアカリ改訂調査研究チーム7グループ

- 尾鳥勝也（北里大学）
- 木内祐二（昭和大学）
- 幸田幸直（つくば国際大学）
- 佐藤英治（福山大学）
- 鈴木 匡（薬学会コアカリ委員）
- 滝口祥令（徳島大学）
- 高橋 寛（薬学会コアカリ委員）
- 中嶋幹郎（長崎大学）
- 永田泰造（薬学会コアカリ委員）
- 中村 仁（東北薬科大学）
- 新田淳美（薬学会コアカリ委員）
- 野村忠之（日本薬剤師会）
- 前田 徹（金城学院大学）
- 政田幹夫（薬学会コアカリ委員）
- 松下 良（金沢大学）
- 松原和夫（薬学会コアカリ委員）
- 村井ユリ子（東北大学）
- 矢野育子（日本病院薬剤師会）
- 山下美妃（北海道薬科大学）
- 山本晃之（日本薬剤師会）
- 渡邊博志（熊本大学）
- 渡邊真知子（帝京大学）



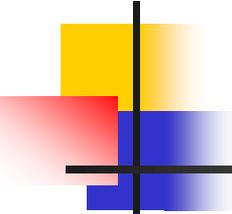
# 「F 薬学臨床」の改訂作業概要

---



# 文部科学省専門研究委員会からの 作業方針

- 「**薬剤師として求められる基本的な資質**」に基づき、その資質を身に付けるために学ぶ形で作成する。
- **薬学教育モデル・コアカリキュラム及び実務実習モデル・コアカリキュラムを一本化する。**
- **[F 薬学臨床]**との関連性を重視して、他の大項目の改訂作業を進めること。



# 文部科学省専門研究委員会からの 作業方針

---

- **改訂後のカリキュラムで学んだ学生が社会に出た時の薬剤師が必要とする新たな内容を含むこと。従って現行のカリキュラムの枠を超えた議論が必要。**
- **[F 薬学臨床]**に関しては**全面改訂**すること。その中に「**医薬品の安全性**」に関する項目を取り入れること。

# 大きく変更された「F薬学臨床」

新しいコアカリによる卒業生が社会に出るのは  
少なくとも8年後…

**10年後の薬剤師業務に必要な  
基本的能力**

**「薬剤師として求められる基本的な資質」  
を身につける！**

- ① 薬学教育と実務実習のカリキュラム一本化
- ② 事前学習・病院実習・薬局実習の一本化

# 大きく変更された「F薬学臨床」

## ① 薬学教育と実務実習のカリキュラム一本化

「F薬学臨床」に提示されたSBOs(GIO)は入学時から始まる6年制薬学部教育の中で段階的に修得し、その最終的に身につける臨床能力の目標を提示している。

事前学習・実務実習ではそれまでの学習で不足している事項を補い、その目標に達しているかどうかを評価する最終通過点

前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果・副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見を具体的に説明できる。

A 基本

## 「F 薬学臨床」 SBO例

これらを回避するための

臨床現場で分析技術を適切に応用するため代表的な分析法の基礎知識を修得する。

医薬品の作用を化学構造と関連づけて理解するため医薬品に含まれる代表的な構造とその性質に関する基本事項を修得する。

人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本事項を修得する。

免疫反応に基づく生体の異常を理解するために、代表的な免疫反応の破綻および免疫反応の臨床応用に関する基本事項を修得する。

## E 医療薬学

作用部位に達した薬物の量と作用により薬効が決まることを理解し……

医療における医薬品のリスクを回避することができるようになるために……

最適な薬物治療の実現に貢献できるようになるために、  
循環器系・泌尿器系……

最適な薬物治療の実現に貢献できるようになるために、  
呼吸器系・消化器系……

最適な薬物治療の実現に貢献できるようになるために、  
治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する技能・態度を身につける。

薬物治療の有効性、安全性、信頼性を高めるために……  
DDSに関する基本的知識を修得する。

……………

**前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果・副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見を具体的に説明できる。**

**前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果・副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見を具体的に説明できる。**

AからE領域までのSBOs (GIO)を

着実に修得してくれば・・・

**事前学習で行う方略と評価**は 例えば・・・

代表的な疾患の薬物療法における症例について処方提案に必要なモニタリングすべき症状と検査所見をその根拠とともに列挙し発表。

それをもとにさらにSGDを行い検討・発表する。

(90分×3)

担当教員が各発表に対し、口頭試問で適切な返答が得られるか評価。

# 目標は「薬剤師として求められる基本的な資質」

現在重点の置かれている

○医療人の心構え ○「調剤」業務

○リスクマネジメント ○コミュニケーション能力

これらの修得は基本とし・・・

**○安全で有効な薬物療法の提案とそれを実施・  
評価できる能力の修得**

**○チーム医療・地域医療への「参画」能力の修得**  
・・・に新たに力点が置かれた。

# 薬剤師の積極的貢献を目指して

(1) 薬学臨床の基礎

(2) 処方せんに基づく調剤

(3) 薬物療法の実践

【患者情報の把握】【医薬品情報の収集と活用】

【処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)】

【処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】

(4) チーム医療への貢献

【医療機関におけるチーム医療】【地域におけるチーム医療】

(5) 地域の保健・医療・福祉への参画

【在宅医療・介護への参画】【地域保健への参画】

【プライマリケア、セルフメディケーションの実践】

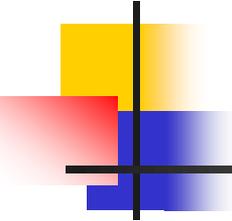
【災害時医療と薬剤師】

# 総合的な薬剤師業務の修得

## ② 事前学習・病院実習・薬局実習を統合

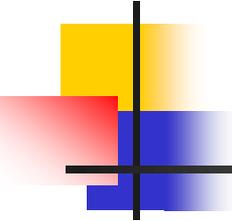
- ◎ 大学で修得した知識、技能、態度と医療現場での体験を通して、薬剤師に必要な業務遂行能力を修得する。
- ◎ 薬局・病院の範囲にとらわれず業務本来の意義を理解して、実践的な臨床能力を修得する。

大学でどこまで学ぶかを明確にするために  
SBOsに **前)**を表示



# 文部科学省専門研究委員会からの 中間まとめの修正方針

- **重複するSBOsの再検討。**
- **他領域を含めた語句の統一。**
- **「早期体験学習」の再検討。**
- **SBOsのうち「シミュレートする」となっているもの  
についての再検討。**
- **「代表的疾患」の例示についての再検討。**
- **「注射薬調剤」「輸液の調製」「手洗い」等欠落の指摘。**



# 文部科学省専門研究委員会からの 中間まとめの修正方針

---

- **病院と薬局をなるべく統合した形が望ましい。**
- **学習しやすくするための「例示」の表記。**
- **〔患者情報の把握〕についての意見を再検討。**
- **〔処方設計と薬物療法の実践〕について  
より主体的でEBMを重視した目標の再検討。**
- **「地域の保健・医療・福祉への参画」にあげられている  
SBOsが全国共通で修得可能か確認。**

# 修正意見を受けた改訂

## 早期臨床体験

「早期体験学習」を訂正し、薬剤師になるための準備として原則として2年次修了までに学習する医療の担い手に必要な基礎目標とした。

## 代表的な疾患

薬学臨床の学習で関わっておくことが望ましい疾患を提示。実習施設で継続的に広く薬物療法に関わることを促す。

最低限共通して確保したい内容は括弧内に「例示」している。



# 修正意見を受けた改訂

- ◎後発品などの語句の統一
  - ◎注射薬・輸液等の目標を追加
  - ◎より薬物療法に主体的に関わる表現に変更
  - ◎フィジカルアセスメントなどの取扱いの改訂
  - ◎病院・薬局の目標を合わせ、  
他領域と重複するSBOsの削除
- ➡ 特にその項目と関係の深い他領域の項目を「参照」として提示

# 全国で共通してすべての目標の 修得が可能か…

日本薬剤師会・日本病院薬剤師会は  
新しいモデル・コアカリキュラムの実施におけ  
すでに行動を始めている。

大学そして学会なども一緒になって  
「**オール薬学**」でこの新しい目標の修得実現に  
むけた努力がこれから必要。